

2020年度 児童発達支援事業所における自己評価結果（全職員の各項目評価を%で記載しています）

法人名：社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会 評価結果公表予定日：2021年 3月5日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	法令を遵守したスペースを確保するとともにプログラム別の場所も確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	89%	11%	法令で必要とされている職員数に加え、児童指導員、障害福祉経験者、または従業者を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	子どもたちが自分自身で活動に参加できるようにプログラム別にルームを設定しています。また、エレベーターの完備、各デイルームのフラット化により、すべてのお子さんにご利用しやすいようにバリアフリー化を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	すべての事業所が同じアセスメントシートを用いて、また各担当者を決めて目標設定と振り返りに取り組んでいます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	毎年、利用者満足度調査を実施して保護者等の意向を把握し、利用者満足度調査結果分析シートを作成して改善に努めています。また、厚生労働省が定める“児童発達支援ガイドライン”に基づき保護者向け評価表も活用して業務改善に取り組んでいます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	スーパーバイズを招き、年間をとおして子どもの支援について職員研修を実施して質の向上を図っています。また、2019年度は、すべての職員が外部研修に行く機会を確保しました。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	個別面談時に法人内共通のアセスメントシートを用いて、また発達検査やサービス等利用計画も参考にして児童発達支援計画書を作成しています。そして、月に1度、児童発達支援管理責任者、相談員、作業療法士、児童指導員等多職種チーム会議を行い、子どもたちの療育、リハビリテーションの具体的な支援内容を共有化しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	子どもリハビリテーションは感覚統合・運動療法を中心に、運動発達・コミュニケーション面など社会性を高めるサポートをしています。幼児療育は、お子さんひとりひとりの成長に合わせて、音楽療法・表現活動、体験型英会話、体験型療育（GOKAN療育）、ライフスキル、就学準備、また臨床心理士による発達検査を実施しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	毎日、朝礼にてお子さんの出欠・様子、支援内容等の確認をして役割分担を確認しています。また支援終了後には、お子さんの様子、保護者からの引き継ぎ、支援の内容等の振り返りを行い職員間で共有化しています。日々の支援の内容は、個別記録を作成して検証・改善につなげています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	相談支援事業所のサービス担当者会議には基本的には児童発達支援管理責任者又はお子さんの担当者が出席することになっています。 6 か月に 1 度の頻度でモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを、ケースカンファレンスにて検討し了承を得ています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	行政、相談支援事業等との関係者や関係機関と連携した支援を行っています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	－	－	現在、医療的ケアが必要な児童のご利用はありません。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	－	－	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	保護者の方のお申し出で、関係機関等へ情報提供が必要な場合、アセスメントシート等の支援内容の情報を提供できるように5年間保管しています。また、当法人スーパーバイズが学校等の訪問支援を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	スーパーバイズや講師を招いて子どもの支援や職員の教育研修について助言や研修を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	当法人の放課後等デイサービスにおいて、長期休暇やイベントを活用して地域住民の方や子どもたちと交流する機会を設けています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	0%	西成区の（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	講師を招いて療育セミナーを開催して、家族支援プログラムを実施しています。また相談員が子どもの発達の状況や課題について共通理解できるように努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%	0%	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	事業契約時において契約書・重要事項説明書の説明を行い署名・捺印を頂いています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	保護者の方と“いっしょに子育て”をする姿勢に立ち、経験のあるスタッフがサポートをさせて頂いています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	保護者会SUNOと連携してイベントの開催等をととして保護者同士、事業所・保護者連携に取り組んでいます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	法人として“ひやりはっと”“事故報告書”“利用者等情報受付表”を整備しています。そして事業所にて、リスクマネジメント委員会を毎月開催して、事故・苦情等の予防・是正に取り組んでいます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	毎月、ご利用確認カレンダーを発行して、活動内容を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	法人としてプライバシーマーク（PMS）認証を取得して「個人情報保護マネジメントシステムを確立し、「個人情報」を安全に管理する体制を整え、運用しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	お子さん、保護者の方の状況に留意して意志の疎通や情報伝達に努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%	0%	毎年、地域各種団体と連携して、夏まつりを開催し地域住民、家族等200名程度の方々にご参加いただいています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	児童発達支援マニュアル、感染症マニュアル等を整備して職員に周知しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	長期休暇を活用して、消防署と連携して避難訓練に取り組んでいます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	保護者からの情報を把握し、アセスメントシートに記録して個人ファイルにて職員の共有化を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	ひやりはっと報告を強化して、リスクマネジメント委員会にて予防処置の検討・実施に取り組んでいます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	毎年、虐待等の人権にかかわる研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	どのような場合があっても身体拘束をしないことを職員に周知、徹底しています。
合計			99.8%	0.2%	⇔2020年度 児童発達支援自己評価合計

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。